

ノボケア[®]

ニュース

No.19

NOVOCARENWS

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社の糖尿病関連製品をご使用の皆様へ

使用開始前のインスリン製剤の保管について

使用開始前のインスリン製剤は冷蔵庫（2～8°C）に保管してください。
その際、凍結にご注意ください。

- フリーザー内や吹き出し口からの冷風が直接当たる場所に置かないでください。
- 冷蔵室内を「強冷」に設定した場合、凍結することがあります。
- 凍結を避けるため冷却風の当たらないドアポケットなどに入れてください。



凍結により変化し、効果が発揮できなくなります。

- 一度凍らせたインスリン製剤は、作用する時間が変わることで品質が保てませんので、使用しないでください。
- 凍結が原因でゴム栓がふくらんだり、カートリッジがひび割れたり、カートリッジ内に大きな気泡ができたりすることがあります。
- 凍結により注射器が故障することがあります。



外出などの際には・・・

- インスリン製剤は一度でも凍ると薬液が変化してしまうので、冬はタオルに包んで持ち歩くなどの工夫をしてください。
- 飛行機に乗るときには、貨物室内で凍結することがありますので、機内に持ち込んでください。



ご自宅でのインスリン製剤の保管について

使用開始前のインスリン製剤

使用開始前の各製剤は凍結を避け、冷蔵庫（2～8°C）に遮光して保管してください。

冷蔵庫保管時の注意点

インスリン製剤は一度でも凍結すると薬液が変化したり、注射器が故障することがあります。

使用開始後のインスリン製剤

インスリン製剤は使用開始後、室温（30°C以下）で保管し、各製剤の使用期限内にご使用ください。
キャップ等により遮光して保管してください。

保管の際には、注射針を取り外したうえで保管をお願いいたします。

下記の製品については追加の安定性試験を実施し、

使用開始後に室温（30°C以下）のほかに冷蔵庫（2～8°C）で保管することもできます。

※デュラブル型（カートリッジ交換型）注入器で使用している場合は、使用開始後の冷蔵庫保管はできませんのでご留意ください。

| 製品名（使用開始後に冷蔵庫保管も可能な製品） | 開始後の使用期限と保管時の温度 |
|--|---|
| フィアスプ®注 フレックスタッチ® | 4週間、室温（30°C以下）のほかに 冷蔵庫（2～8°C）保管も可 |
| フィアスプ®注 100単位/mL（バイアル製剤） | 4週間、室温（30°C以下）のほかに 冷蔵庫（2～8°C）保管も可 |
| ノボラピッド®注 フレックスタッチ® | 4週間、室温（30°C以下）のほかに 冷蔵庫（2～8°C）保管も可 |
| ノボラピッド®注 フレックスペン® | 4週間、室温（30°C以下）のほかに 冷蔵庫（2～8°C）保管も可 |
| ライゾデグ®配合注 フレックスタッチ® | 8週間、室温（30°C以下）のほかに 冷蔵庫（2～8°C）保管も可 |
| トレシーバ®注 フレックスタッチ® | 6週間、室温（30°C以下）のほかに 冷蔵庫（2～8°C）保管も可 |
| レベミル®注 フレックスペン® | 3週間、室温（30°C以下）、あるいは4週間、室温（25°C以下） のほかに冷蔵庫（2～8°C）保管も可 |
| ゾルトファイ®配合注 フレックスタッチ®※ ※持効型溶解インスリナログ/ヒトGLP-1アナログ 配合注射液 | 3週間、室温（30°C以下）、あるいは4週間、室温（25°C以下） のほかに冷蔵庫（2～8°C）保管も可 |

注射を行う際の注意点

ご使用前に外観で異常がないかご確認ください。

注射の前には常温（15～25°C）程度の温度に戻してご使用ください。

注射前に空打ちにて異常がないことをご確認ください。

朝倉俊成、中野玲子、浅田真一、和田幹子：高温環境下でのインスリン製剤の保管に関する提案、くすりと糖尿病、9(1),104-113(2020)。

製品に関する疑問・質問などは、弊社担当MRまたは下記のノボケア相談室にお問い合わせください。

ノボケア相談室

| | |
|---|---|
|  月曜日から金曜日 (祝日・会社休日を除く) |  夜間及び 土日・祝日・会社休日 (注) お問い合わせ内容によっては、翌営業日に回答させていただく場合がございます。 |
|  0120-180363 |  0120-359516 |